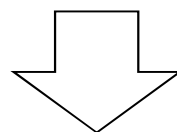


森林内に蓄積している放射性物質が、水、大気系を通じて森林外に流出、拡散する割合は、現時点で得られている知見を踏まえるとかなり小さいのではないかと。

住宅、道路、農地、森林などの広い区画から放射性物質が河川等に流入していると考えられるが、このうち、森林から流入する割合は、現時点で得られている知見を踏まえると、それ程大きくはないのではないかと。



今後、さらに森林からの放射性物質の流出・拡散に関するモニタリングや調査研究を継続して知見の集積を努めることが重要ではないかと。

現時点で得られている知見を踏まえると、放射性物質の流出・拡散防止のために、森林全体の除染を行う必要性は乏しいのではないかと。